

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域との関わりが薄い。 所属している自治体とのつながりを強めていきたい。	運営推進会議において、自治会長など地域関係者の参加や発言が得られる。	運営推進会議参加への積極的な呼びかけや、地域に関わりのある問題提起を行っていく。	12ヶ月
2	6	身体拘束に関する認識、知識を全職員に浸透させる取り組みを行っていく必要がある。	全スタッフが一定レベルで身体拘束に関する見識を持つ事が出来る。	定例の会議等、スタッフが一堂に会する場を利用して学習の機会を持つ。	3ヶ月
3	23 26	各スタッフによる介護記録の内容や、ケアプラン作成の過程をよりケアマネジメント本来の形に近づけていく必要がある。	日常業務レベルでケアマネジメントのプロセスが定着する。	現状において不十分な箇所を整理し、必要な業務をケアマネの業務スケジュールに落とし込む。 スタッフの介護記録を添削するなどの取り組みを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。